

在京花巻人会 2月10日理事会議事録

出席者； 板垣、伊藤、須藤、瀬川、佐々木哲男、高橋（勉）、高橋（良）、多田、畠山、（9名）

第1議題 「会報72号（6月号）」について

- 1, 記事内容表について編集長より説明あり。
「雄星プロジェクト」の地鎮祭が2/3行われており、記事に追加。
- 2, 執筆者の選考について（会員の活動報告コーナー）
銀河プラザの「いわて冬季観光キャンペーン花巻の日」は佐々木哲男理事、県連「新春懇親会」は多田理事、平塚「花巻観光物産展」は梅津理事に願います。（各600字以内）
- 3, スケジュールの確認
4/20の編集会議（第3校検討）を5/8(水)に変更する。（その他の理事会は予定通り開催）

第2議題 「ホームページ」について

「ホームページ」の現状報告と今後の掲載記事について、会員への活動の告知の掲載が待たれるとの意見あり。活動は現在検討中なので決まり次第掲載することとし、取り急ぎ理事会での活動検討の状況を知らせるために議事録を掲載することにした。

第3議題 「来年度の会員向け活動」について（別紙資料あり）

- 1, 「花巻まつりツアー」について（9/13～15）
金額が上がっても旅行業者を使うべきとの意見多数。交通手段は新幹線、旅程は1泊2日が有力。ホテルは第一候補グランシェール、料金によっては花巻温泉検討。やる方向で概ね意見は一致。
- 2, 「カラオケ同好会」の発足について
3月に立ち上げることとし、まずは詳細決定しホームページで募集。第1回実施の様子を6月号会報に載せ以後の募集に繋げたい。
- 3, 「歩こう会」後企画の検討と実施計画について
当面、これ迄準備してきた「歩こう会」のプラン「浅草～千住」と「新橋～浜離宮・築地」のどちらかを4～5月実施予定で検討。
「歩こう会後企画」については内容の検討を今後も継続。
- 4, 分科会（ワークショップ）について
「花巻の歴史を学ぶ会」（代表瀬川会長）と「花巻弁を喋る会（賢治作品朗読含む）」（代表須藤理事）の開設を準備する。会の運営や募集要項などの詳細を詰めて、間に合えば会報に掲載する。
- 5, べんべろの会との連携企画について
べんべろの会会員の出演による在京花巻人会主催の「賢治朗読会＋α」の開催と『「在京花巻人のつどい」での賢治作品朗読』について検討した。その結果、当面は後者の可能性をべんべろの会

の反応を含めて優先検討することとなった。前者については、αの企画として「賢治を唄う」、「『賢治を知る』をテーマとした講演」などを今後検討する。(但し、べんべろの会は11月に予定通り発表会を予定。)なお、「集い」での朗読コーナーや、4の「花巻弁を喋る会」などの実施により、在京花巻人会の会員の間へべんべろの会入会の機運を高めたい。

- 6, 花巻物産展等花巻市の首都圏でのイベントに絡めた会員向け企画については佐々木哲男理事を中心に検討を続けることとした。

第4議題 令和6年度に向けた「組織及び担当表の改訂」について

1, 各班の現状報告と今後の課題

- ・名簿班は、ラベルの作成や各方面への各種書類の郵送作業などの面でいまだ準備不足。板垣理事の退任(3月一杯)が予定されているが、4月以降も引き継ぎが残りそう。メンバーは伊藤、佐々木(健)で継続。ラベルについては梅津理事がサポート中。
- ・会計班は、同じく板垣理事の後任予定の千葉理事に作業が引き継げない状況。佐々木(哲)理事がパソコンを練習中で、引き継ぎ迄の対応(サポート役)が課題。
- ・会報班は、同じく板垣理事の退任後に千葉理事を予定していたが当面は無理との事。瀬川編集長が新報社と打ち合わせして、必要なサポート作業を特定し、改めて担当者を決めることとした。
- ・連絡・渉外班は、菊池理事に代わって高橋(勉)理事に班長をお願いしたが無理とのこと、梅津理事をお願いしたい。佐々木(哲)理事が県連、ふるさと会ともスムーズに溶け込んでいるので、連絡・渉外班を兼任してもらおう。
- ・事業企画班については、会員向けの活動が検討されており、活動毎の担当者を決める必要があり、改めて活動毎の配置を検討する。
- ・畠山、菊池、照井、多田、須藤、福井、各理事については、上記の各班のサポートないしは会員向け活動の担当について、改めて希望を募った上で役割を決めたい。

- 2, 3月の理事会で新たな組織と担当表を最終決定する。

以上